

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	20	課題区分	C	令和7年5月1日		
横断的な課題		観光誘客や移住者増加につながる地域の魅力を高め、発信する							
地域重点政策		2 観光誘客や移住者増加につながる地域の魅力を高め、発信する				北アルプス地域振興局			
実施機関		北アルプス地域振興局(長野地域振興局と連携)			担当課	所属	商工観光課、企画振興課		
事業名		北アルプス地域魅力発信事業				電話	0261-23-6523,0261-23-6501		
						E-mail	kitachi-shokan@pref.nagano.lg.jp kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	令和6年3月の北陸新幹線敦賀延伸に伴い、広域観光の情報を発信し、関西・北陸方面からの広域的な観光誘客の推進を図る。 また、移住希望者等に北アルプス地域を選択してもらうため、移住定住情報等を発信する。							
	現状と課題	【広域観光マップ(ながの・にいがたうみやまマップ)の増刷】 平成26年に作成、印刷された「ながの・にいがたうみやまイラストマップ」は、長野県の長野・北信・北アルプス地域と新潟県の上越・糸魚川地域の広域観光情報を発信しており、当地域が3000m級の山々や日本海といった変化に富んだ地域であることをイメージしやすいように、デフォルメされたイラストによるマップを掲載するなど見やすいものとなるよう工夫を凝らした作りとなっており、非常に好評である。当該広域観光ガイドマップは、観光客や県内来訪者へ向けた管内の重要な広報ツールであり、当局においても本年度も大阪における観光PRで使用するなど、昨年度増刷分はほぼ配布済みのため、新たな増刷が必要。 【圏域移住パンフレット(北アルプス後立山連峰の麓に暮らす)の増刷】 令和5年度に北アルプス連携自立圏で作成。記事内容や構成、完成度など移住希望者や県外移住サポートデスクから高く評価を得ている。移住希望者に当地域を選択してもらうため、広く配布する必要がある。							
	内容 (変更後の内容)	「広域観光マップ」の増刷 (1)実施方法 長野地域振興局と連携し内容の時点修正等の有無確認を行いながら、印刷製本する。 (2)仕様 A1版 両面カラー 蛇腹6山折短辺2ツ折 10,000部 「圏域移住パンフレット」の増刷 (1)実施方法 北アルプス連携自立圏と連携し内容の時点修正等の有無確認を行い、印刷製本する。 (2)掲載内容 ・北アルプス地域の基本情報(アクセス、気象、医療、保育等) ・各5市町村ごとの移住者への取材記事について ・地域おこし協力隊座談会の記事 (3)仕様 A4二つ折り、44ページ、フルカラー、2,000部							
	事業期間	R7. 2 ~ R7. 3							
事業費等	(単位:円)								
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考		
	広域観光マップの増刷		「ながの・にいがたうみやまイラストマップ」の印刷		439,450		需用費(印刷費):439,450円		
	圏域移住パンフレットの増刷		「北アルプス後立山連峰の麓に暮らす」の印刷		99,000		需用費(印刷費):99,000円		
	圏域移住パンフレット送付		送料		5,156		役務費(送料):5,156円		
		合 計		543,606					
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況	
	広域観光マップを配布する管内観光事業所・施設数			18施設		18施設		○ 達成	
	(県外施設は長野地域振興局で対応)							● 一部達成	
	圏域移住パンフレットを配布する事業所・施設数			13施設		9施設		○ 未達成	

事業実績・成果	○印刷及び配布について 両印刷物ともに予定どおり、印刷を実施することができた。 配布については、「広域観光パンフレット」は予定どおり、「圏域移住パンフレット」は市町村分は連携自立圏により送付が行われたので、計画より少ない配布箇所となった。 配布した各施設からは「これからも発行を続けてほしい」等のお言葉をいただいた。 ○成果 両資料を広く配布したことにより、これまで以上に新潟・長野両県各圏域で取り組んでいる広域観光誘客の推進及び北アルプス圏域への移住者増加の推進につながったものとする。
今後の方向性	引き続き観光マップの定期的な内容更新及び印刷・配布を実施し、広域的な観光誘客の推進を図る。